

【科目名】 高次脳機能障害学概論		【担当教員】 伊林 克彦 (メールアドレス) (オフィスアワー) 火曜～金曜 9時～18時
【授業区分】 専門基礎分野	【授業コード】 2-14-0400-0-3	
【開講時期】 2年次後期	【選択必修】 理学療法専攻・作業療法専攻 選択、言語聴覚専攻 必修	
【単位数】 1単位	【コマ数】 8コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 高次脳機能障害とはいかなる疾患か、あるいは当該患者が社会生活を送る上でどのような支障を生じるかなどについて学ぶ科目です。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) この科目では、神経解剖学的な基礎学力を必要とします。		
【講義概要】 (目的) 我々が過ごす日常生活の中で、言語や記憶、行為、認知さらに注意といった様々な高次脳機能が常に介在している。それらの高次脳機能とはどのような機能なのか、またそれらの機能が障害されると、日常生活にどのような影響を受けるのかなどについて学ぶ。 (方法) 上記の高次脳機能およびその障害像について、座学を中心に講義を進める。その中で、高次脳機能の抽出に使用する各種の検査等についても紹介する。		
【一般教育目標(GIO)】 高次脳機能障害患者が抱える諸問題について、その病態を知りどのような形でアプローチすることが大切であるか評価を含めて理解する。 【行動目標(SBO)】 高次脳機能とは、どのようなものか言える。 高次脳機能障害にはどのような障害があるか言える。 それぞれの高次脳機能障害について説明できる。		
【教科書・リザーブドブック】 藤田郁代 他著・「高次脳機能障害学」医学書院、2009年 ￥4,725		
【参考書】 武田克彦 波多野和夫 著 「高次脳機能障害その概念と画像診断」中外医学社 2007年 ￥7,800 森惟明 鶴見隆正 著 「PT・OT・ST のための脳画像のみかたと神経所見 第2版」医学書院 2010年 ￥5,250		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規程の GPA 制度に従う。		

平成 26～28 年度入学者用

評価は、講義終了後の筆記試験にて行う。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		80		20					100 点
評価指標	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)		時間(分)		
1	高次脳機能障害とは								
2	映像による理解								
3	視覚の障害								
4	聴覚の障害								
5	触覚の障害								
6	病態認知の障害								
7	行為と記憶の障害								
8	前頭葉の障害								

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。